

第2期玉村町まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン  
総合戦略

令和2年3月

玉村町

## 目 次

### 第1章 人口ビジョン

1. 第2期玉村町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの位置付け.....	1
(1) 国の「第2期まち・ひと・しごと創生長期ビジョンと総合戦略」の概要.....	1
(2) 第2期玉村町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの位置付け.....	2
2. 玉村町と群馬県の人口動向.....	3
(1) 総人口の推移.....	3
(2) 行政区ごとの年齢3区分人口割合の現状.....	4
(3) 自然増減及び社会増減の推移.....	5
(4) 婚姻件数と合計特殊出生率及び未婚率の推移.....	7
(5) 企業数・事業所数・従業者数.....	8
(6) 転入数・転出数の上位地域.....	9
(7) 外国人の推移.....	9
3. 玉村町の人口の将来展望.....	10
(1) 目指すべき将来の方向.....	10
(2) 玉村町の将来展望人口.....	11

### 第2章 総合戦略

1. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付け.....	13
(1) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景.....	13
(2) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的.....	13
(3) 国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた基本目標.....	13
(4) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間.....	16
2. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針及び施策体系.....	17
(1) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針.....	17
(2) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策体系.....	18
3. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と施策.....	19
(1) 政策分野：地方における安定した雇用を創出する.....	19
(2) 政策分野：地方への新しい人の流れをつくる.....	22
(3) 政策分野：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	25
(4) 政策分野：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する.....	28
4. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進と検証.....	31
(1) 総合戦略の実現に向けた取り組み.....	31
(2) 計画的な推進と検証に向けたPDCAサイクルの導入.....	31

# 第1章 人口ビジョン



## 1. 第2期玉村町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの位置付け

### (1) 国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)と第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

急速な少子高齢化の進展や人口の減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持するために、令和元（2019）年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。

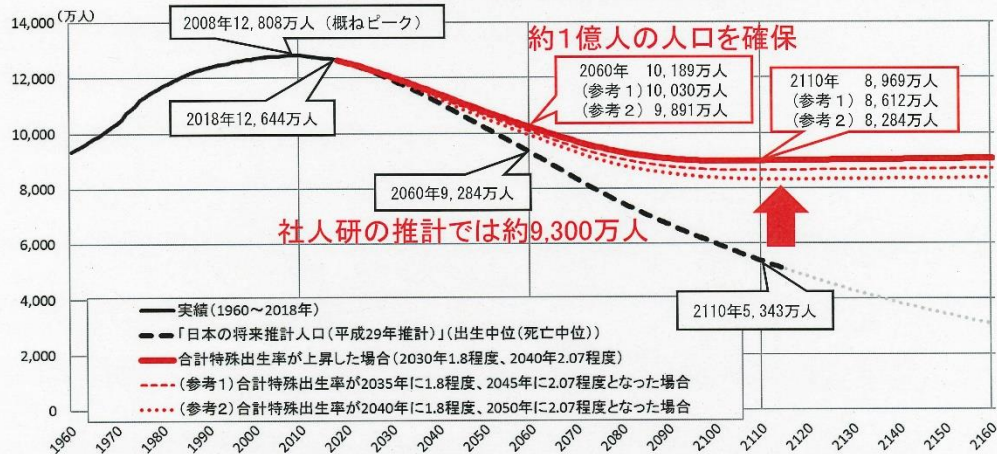
「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（令和元年改訂版）では、現在の人口減少を「静かなる危機」として捉えており、経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、究極的には国の持続性をも脅かすものとしている。そして、官民を挙げて人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保していく長期展望が示されている。

我が国の人口の推移と長期的な見通し（出典：まち・ひと・しごと創生長期ビジョン）

#### まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）

- 社人研の推計<sup>(注1)</sup>によると、2060年の総人口は約9,300万人まで減少。
- 仮に合計特殊出生率が上昇<sup>(注2)</sup>すると、2060年は約1億人の人口を確保。  
長期的にも約9,000万人で概ね安定的に推移すると推計。
- 仮に合計特殊出生率の向上が5年遅くなると、将来の定常人口が約300万人少なくなると推計。

#### 我が国の人口の推移と長期的な見通し



(注1) 社人研「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生中位(死亡中位)

(注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、2030年に1.8程度、2040年に2.07程度となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである。

(注3) 実績(2018年までの人口)は、総務省「国勢調査」等による(各年10月1日現在の人口)。2115～2160年の点線は社人研の2110年までの仮定等をもとに、まち・ひと・しごと創生本部事務局において、機械的に延長したものである。

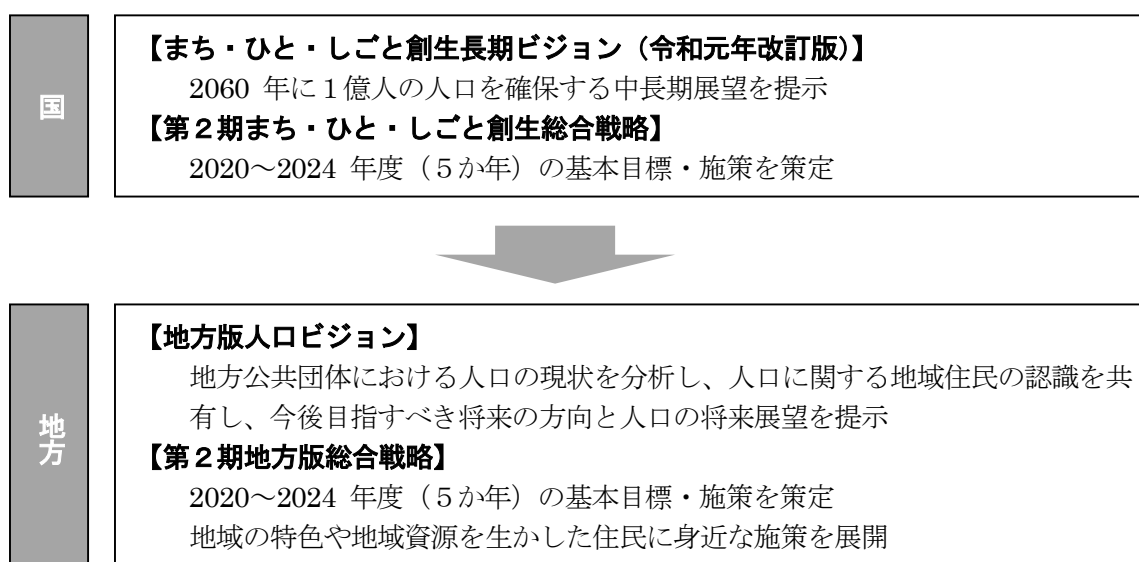
## (2) 第2期玉村町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの位置付け

地方公共団体においては、前記の国の長期ビジョンと総合戦略に基づき、地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定に努めることとされている。

玉村町では、平成23年3月に「第5次玉村町総合計画」を策定し、めざす将来像「県央の未来を紡ぐ 玉村町」の実現に向けてまちづくりを進めている。総合計画の目標人口は、平成32年時点で3万8千人を掲げており、人口減少に歯止めをかけることは、玉村町にとって重要な課題であると捉えている。

このため、玉村町では国の方針に基づき2015（平成27年）12月に「玉村町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定した。この度、第2期玉村町創生総合戦略の策定に当たり、各種統計を最新の数値に時点修正するとともに、外国人の移動の動向等を追加し、「玉村町人口ビジョン」の改訂版を策定する。

### 【まち・ひと・しごと創生法に基づく国と地方の戦略づくり】

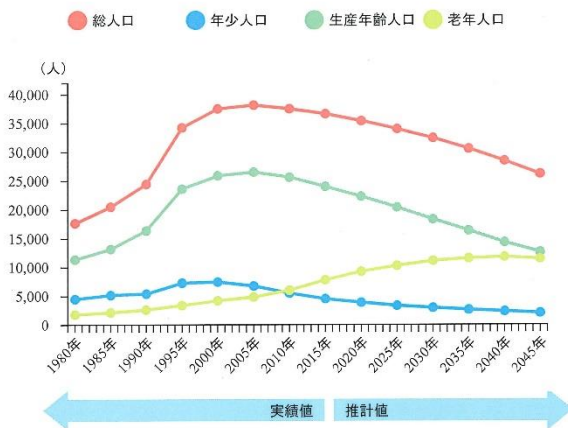


## 2. 玉村町と群馬県の人口動向

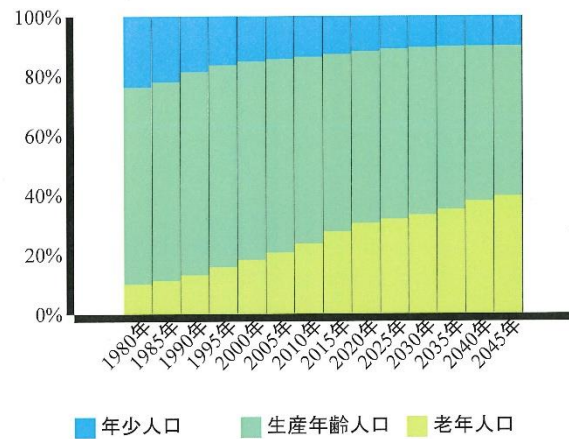
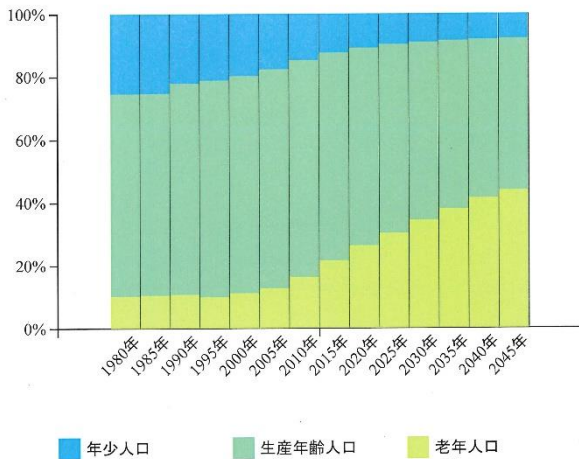
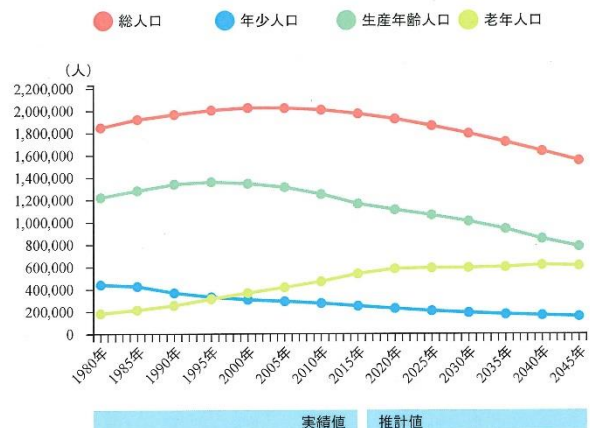
### (1) 総人口の推移

玉村町では、1990年代から人口が急増し、2005年の38,168人をピークに減少に転じている。国及び県と同様に今後も減少傾向は続くものと考えられる。1990年代から人口の急増に伴い、県と比較すると急激な高齢化が進行すると考えられる。総人口は2015年と比較して2020年に96.7%、2030年に88.5%、2045年に71.5%になると予想される。

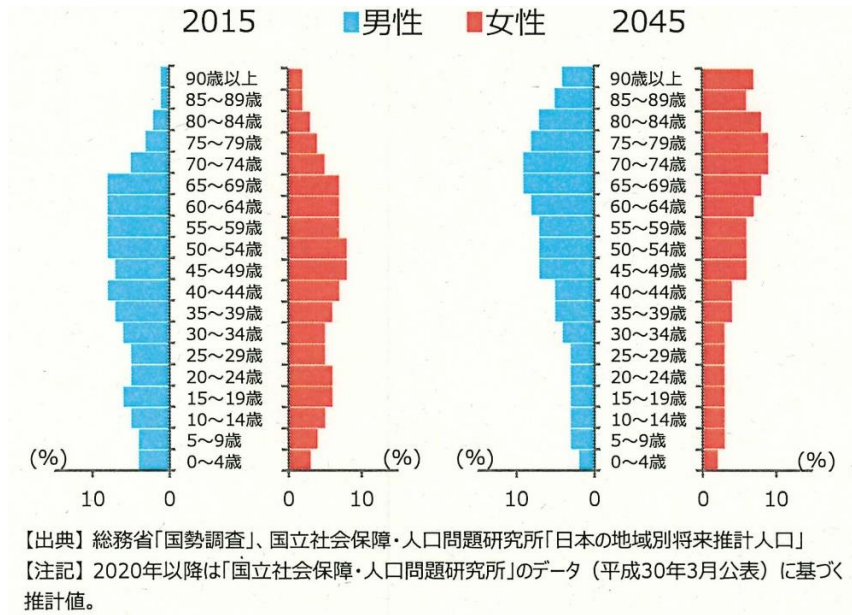
玉村町



群馬県



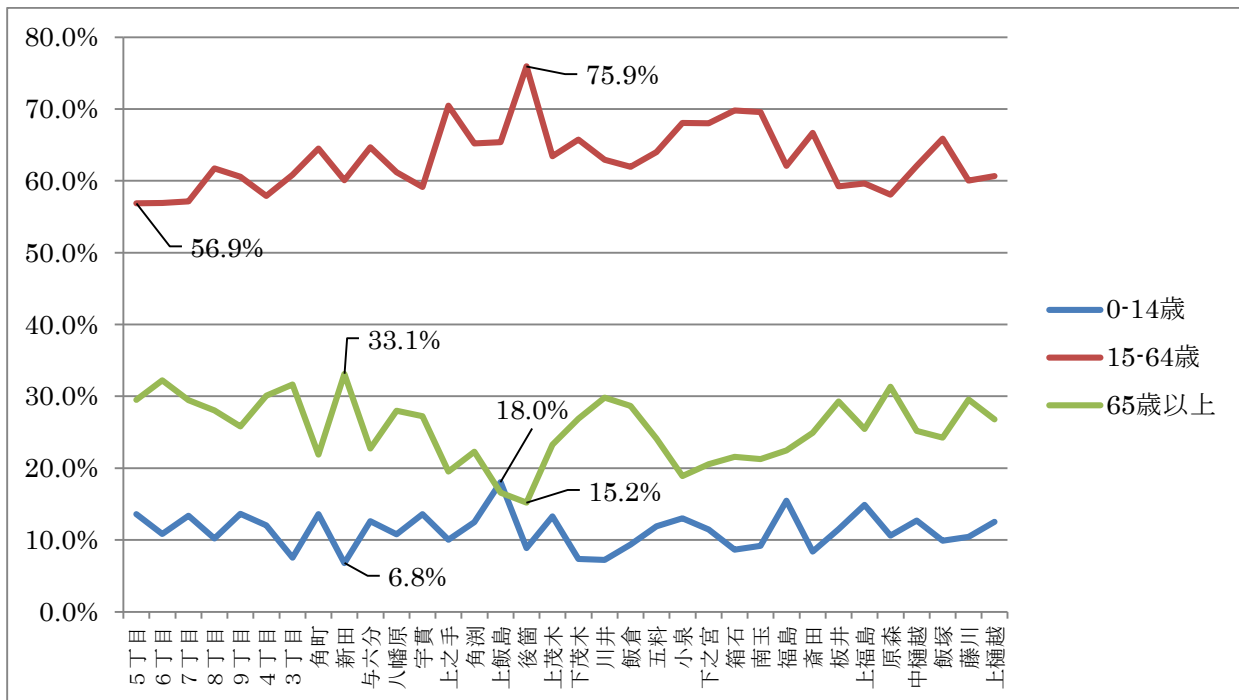
## 玉村町の人口ピラミッド



### (2) 行政区ごとの年齢3区分人口割合の現状

行政区によって少子高齢化の状況は様々である。年少人口の割合が最小の地区は6.8%。最大は18.0%。生産年齢人口の割合が最小の地区は56.9%。最大は75.9%。老年人口の割合が最小の地区は15.2%。最大は33.1%という状況であり、年少人口割合、老年人口割合ともに2倍以上の開きがある。

【2020年1月1日現在】

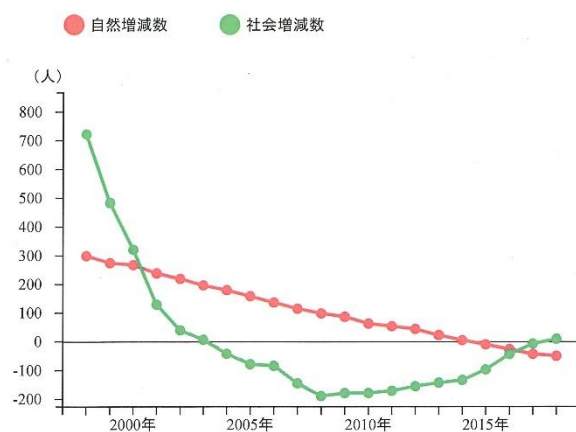
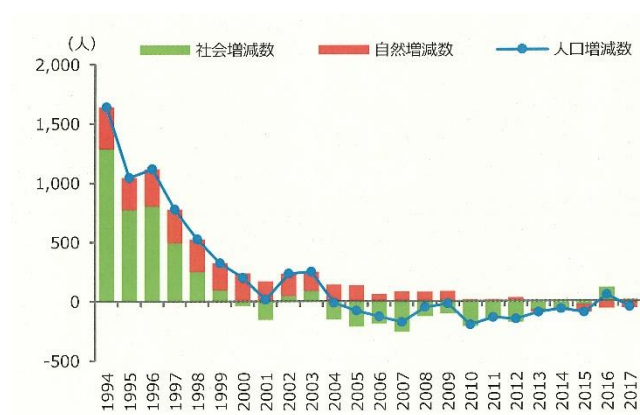


【出典】住民基本台帳

### (3) 自然増減及び社会増減の推移

玉村町の自然増減は緩やかに減少が続いており、社会増減については近年緩やかな回復傾向にある。2013年に死亡数が出生数を上回り、また、社会増減では20歳前後の減少が顕著に表れている。これは進学に伴うものと考えられる。

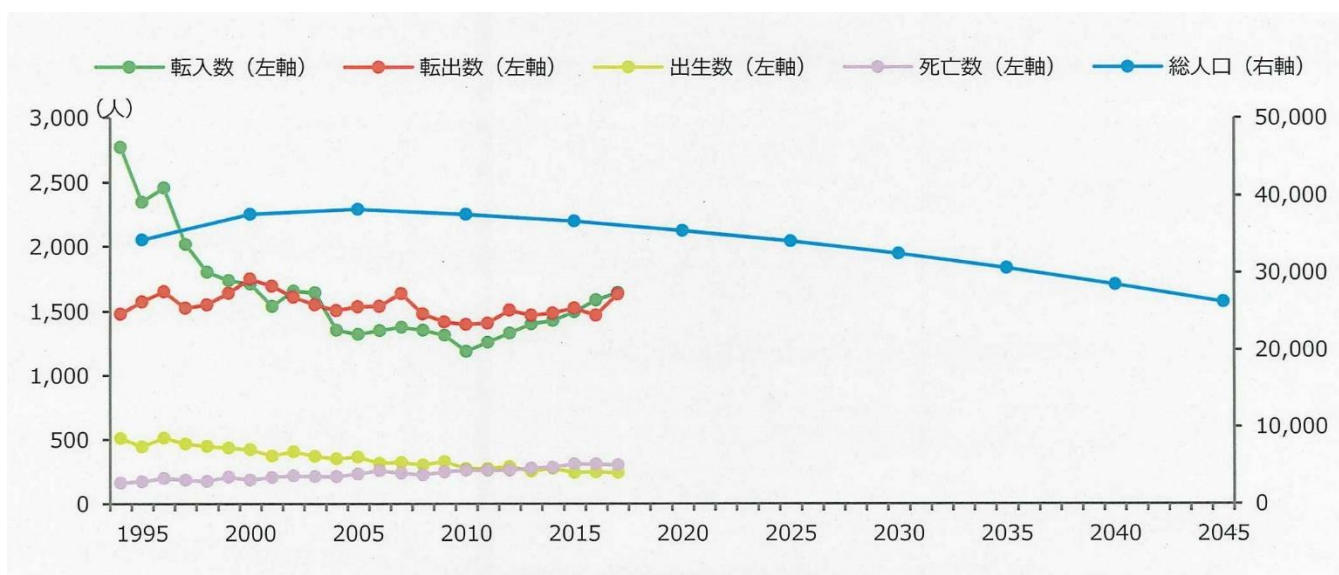
#### 【推移】



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注意】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

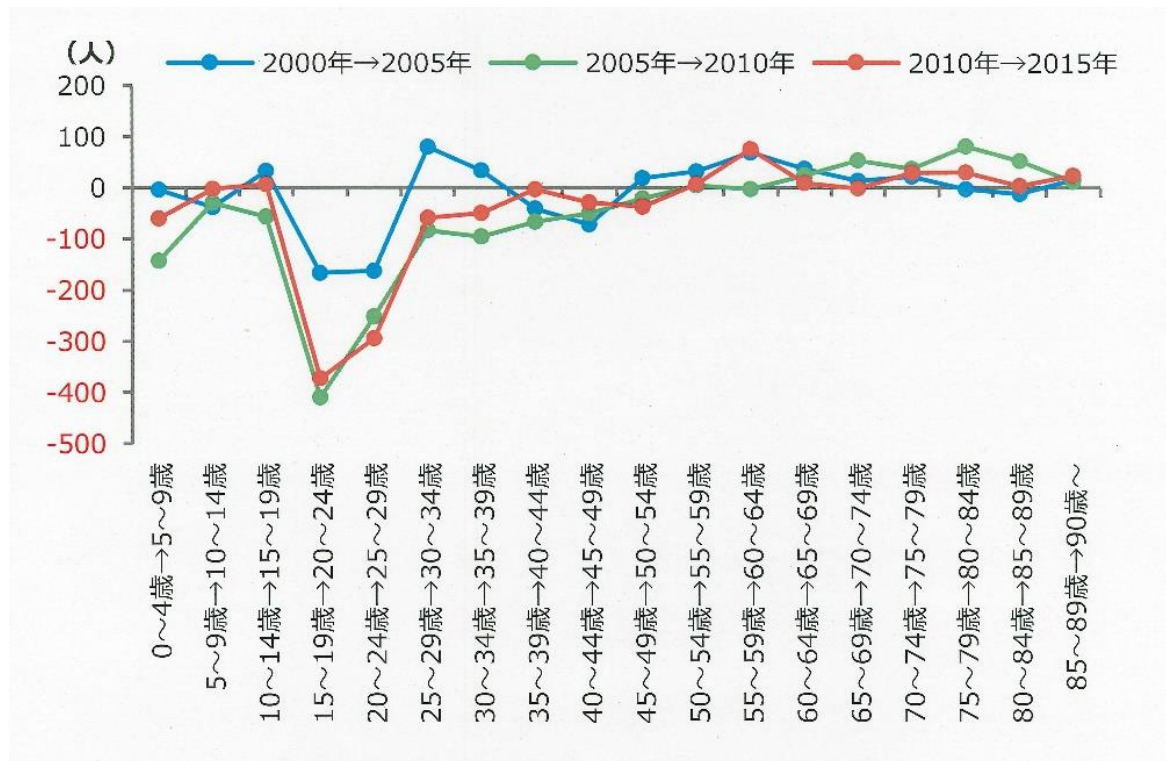
#### 【出生数・死亡数／転入数・転出数の推移及び将来人口推計】



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」



【年齢階級別純移動数の時系列推移】

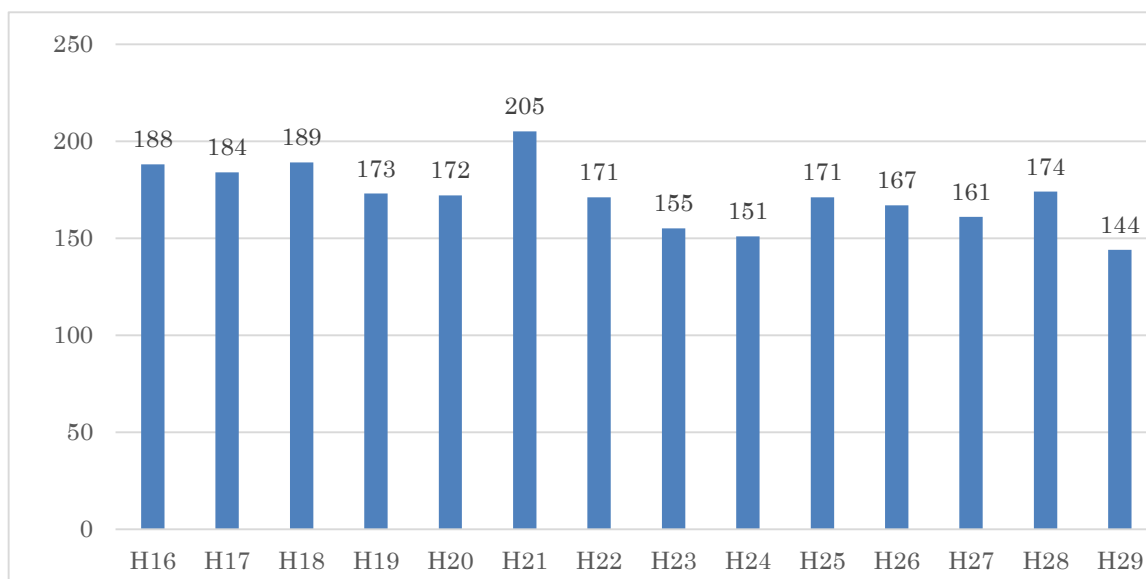


【出典】 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づくきまち・ひと・しごと創成本部作成

#### (4) 婚姻件数と合計特殊出生率及び未婚率の推移

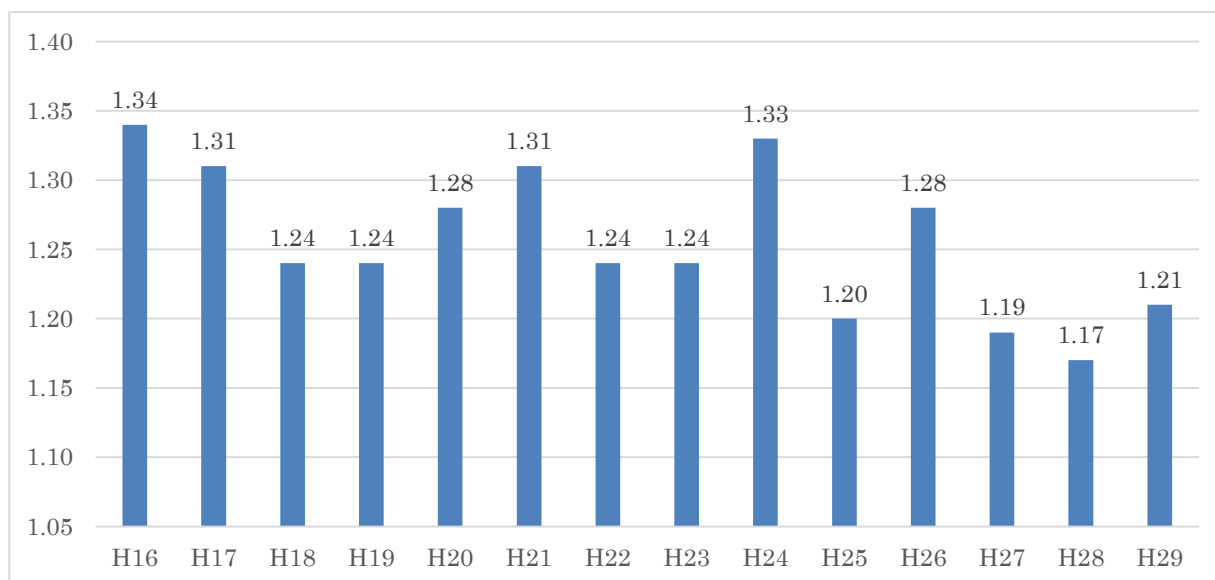
平成16年から平成29年の過去14年間の婚姻件数は、170件前後で推移している。一方、玉村町の合計特殊出生率は、近年減少傾向にある。また、未婚率は増加傾向にある。

【婚姻件数の推移】



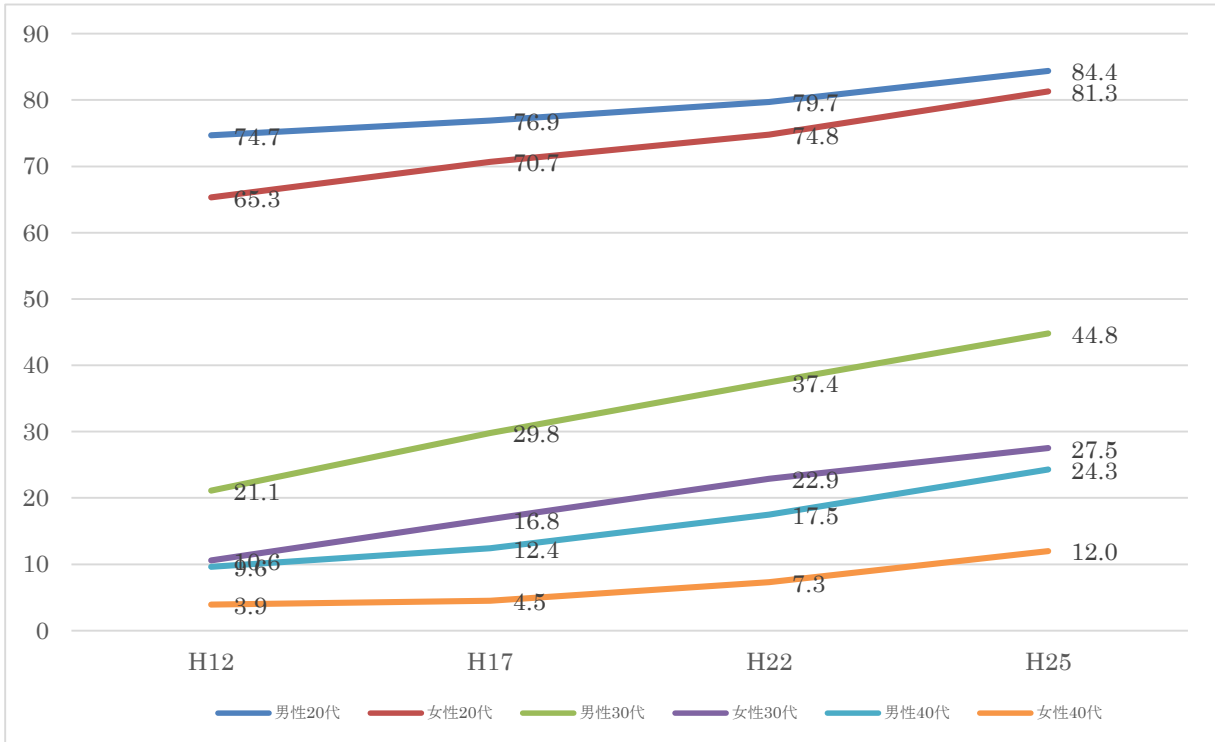
【出典】群馬県人口動態調査

【合計特殊出生率の推移】



【出典】群馬県人口動態調査

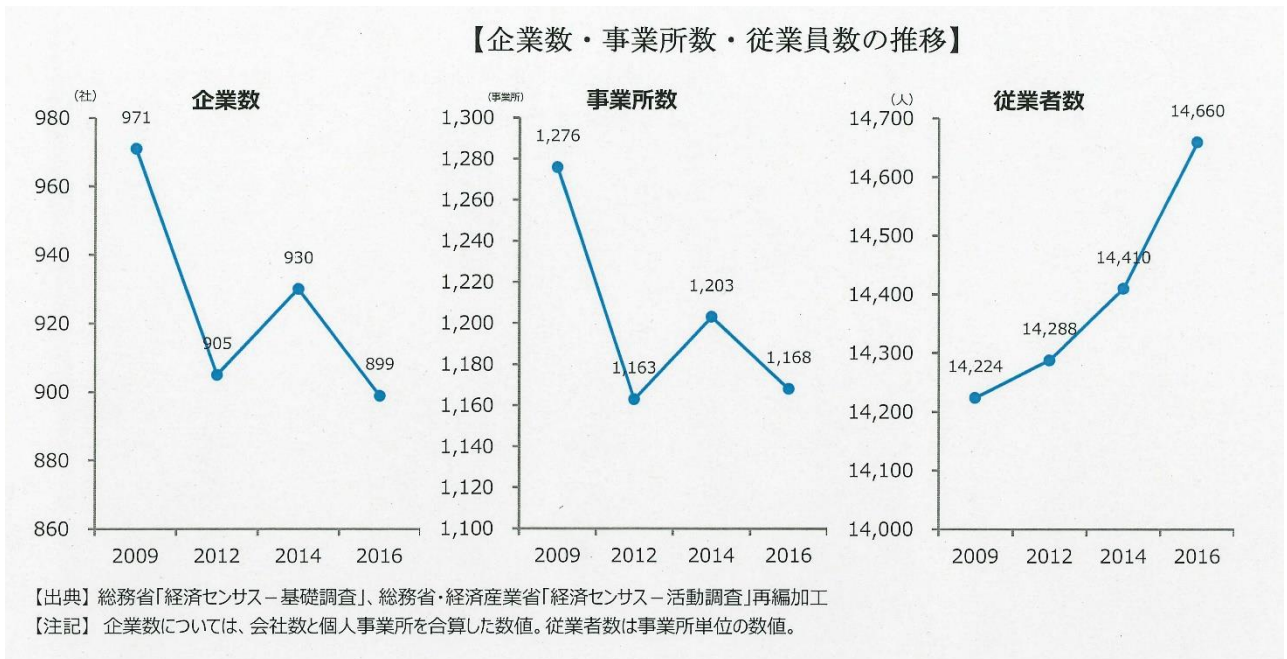
### 【未婚率の推移】



【出典】国勢調査

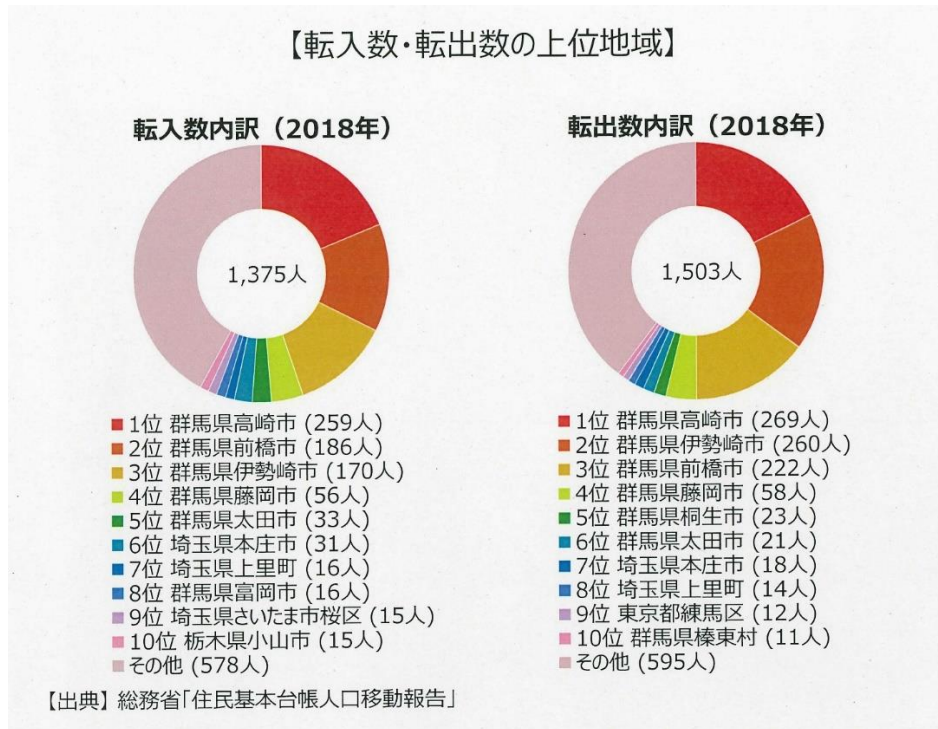
### (5) 企業数・事業所数・従業員数

玉村町内の企業数、事業者数は減少傾向にあるが、従業者数は増加している



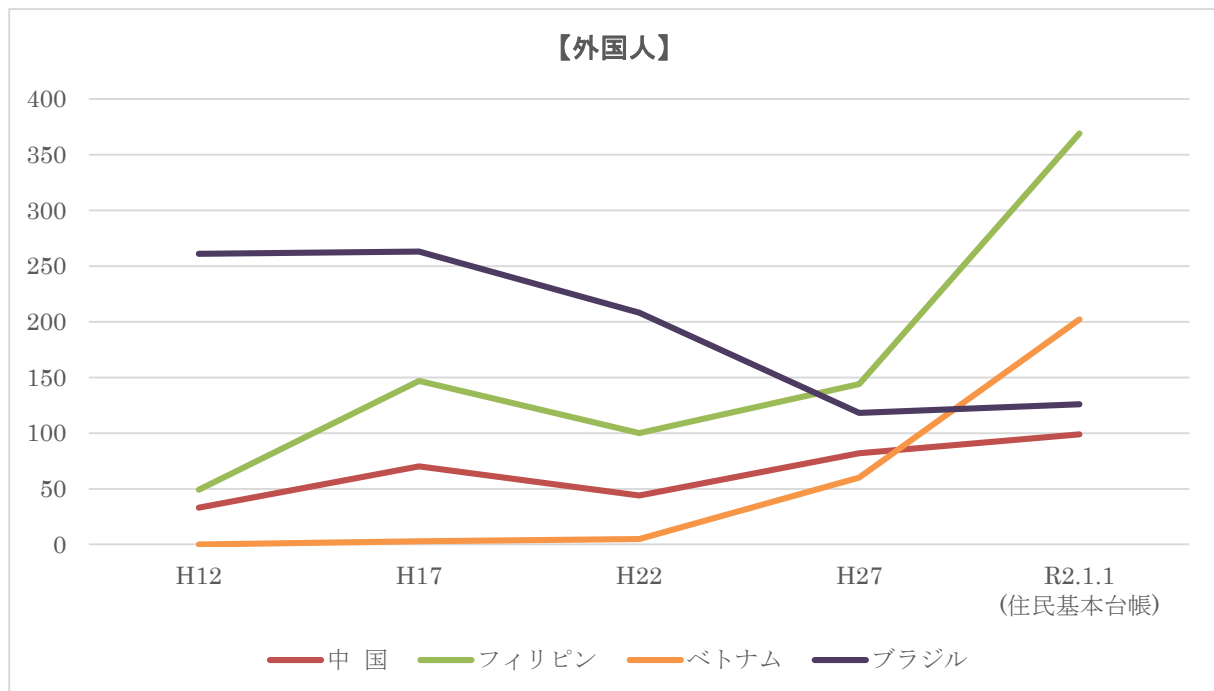
## (6) 転入数・転出数の上位地域

玉村町では、転入転出とも近隣4市（前橋市・高崎市・伊勢崎市・藤岡市）が上位を占めている。転出が転入を上回っている状況となっている。



## (7) 外国人の推移

フィリピン人、ベトナム人の増加が著しい。一方、ブラジル人は減少傾向にある。中国人もやや増加傾向にある。



### 3. 玉村町の人口の将来展望

#### (1) 目指すべき将来の方向

玉村町では、過去 15 年間を見ると、転出数が転入数を上回る社会減少が定着しているが、近年はやや持ち直している傾向にある。しかし、自然減少は今後も続くことが予想されることから、玉村町の人口は、現状のままでは一貫して減少していく可能性が高い。

しかし、「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示した雇用機会の創出策や子育てしやすいまちづくりなどを進めることで、出生率の低下や転出の超過を改善して活力あるまちを維持し、第5次玉村町総合計画に示しためざす将来像「県央の 未来を紡ぐ 玉村町」を実現していく。

人口の将来展望としては、下記のとおり出生率の向上と継続的な社会増を図ることで、人口の減少幅を圧縮する。

#### ■将来の方向 1 ⇒ 2050 年を目途に合計特殊出生率を 2.10 まで上昇させる



子育てしやすいまちづくりを進めて、合計特殊出生率を徐々に高め、国が示した合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準)である 2.1 程度まで上昇させる。

#### ■将来の方向 2 ⇒ 継続的な社会増を目指す



今後、若者が就職したくなる雇用の場を創出するとともに、交通の利便性を生かし周辺都市への通勤・通学のしやすさ、住宅の取得しやすさ、子育てのしやすさを整え、若者の転出を抑制し、ファミリー層の転入を促す。

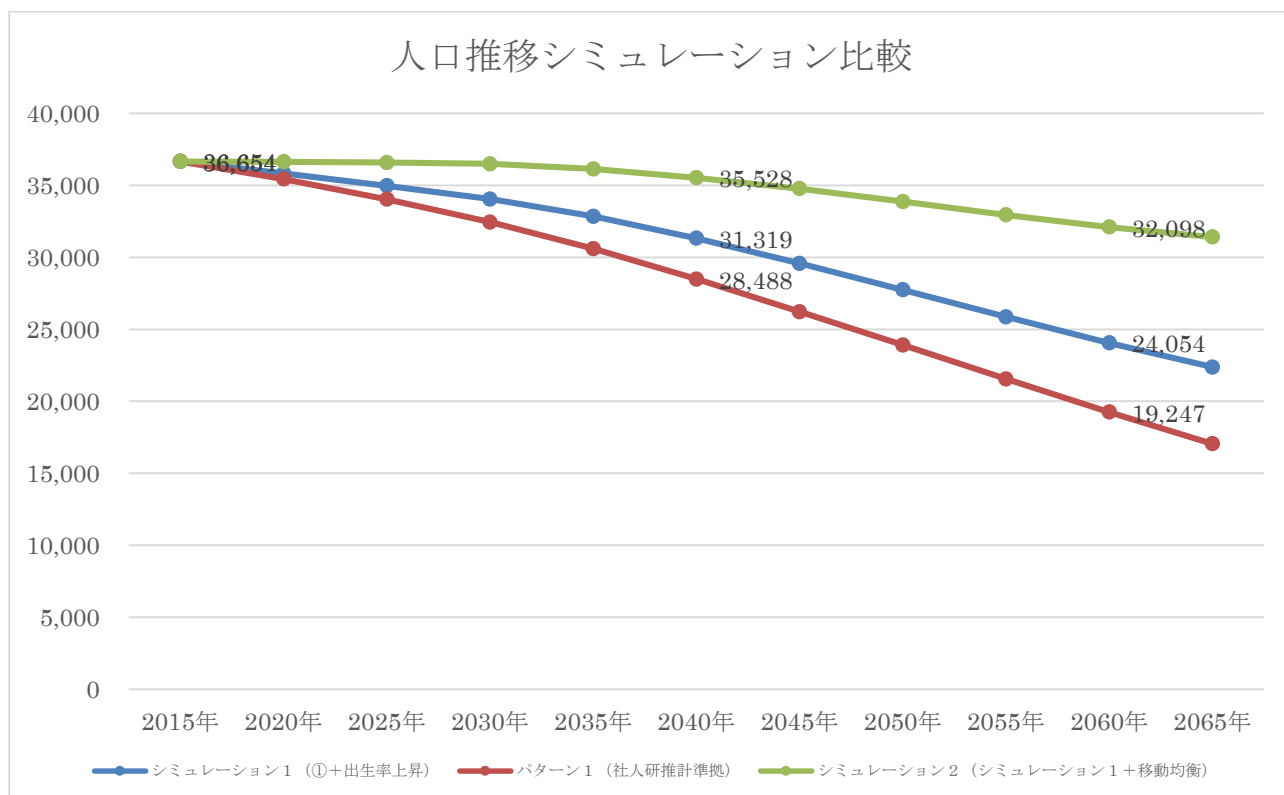
## (2) 玉村町の将来展望人口

国が示した人口推計ワークシートを使い3つのパターンで推計を行った。パターン1として、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」が示した推計、シミュレーション1として国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」が示した推計を基に、国が示した合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準)である2.1程度まで向上すると想定した推計、及び、シミュレーション1に加え、人口移動が均衡した(社会増減が0となった)場合のシミュレーション2の推計を行った。

出生率の向上に取り組むとともに、転出抑制、転入促進に取り組むことにより、2040年の人口はかなり改善されることは確認されたが、シミュレーション1及び2の推計を達成するのは非常に難しいと考えられるが、玉村町の将来展望人口は、下表のとおり、2040年においても3万1千人の人口の維持を目指す。

【玉村町の将来展望人口】

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
パターン1	36,654	35,436	34,035	32,441	30,600	28,488	26,220	23,901	21,553	19,247	17,043
シミュレーション1	36,654	35,824	34,966	34,041	32,843	31,319	29,578	27,742	25,866	24,054	22,372
シミュレーション2	36,654	36,633	36,576	36,486	36,135	35,528	34,766	33,870	32,943	32,098	31,409



## 第2章 総合戦略



## 1. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付け

### (1) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景

国においては、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中の是正、将来にわたる活力ある社会の維持を目指して、中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（平成26年12月27日閣議決定）」を策定するとともに、その下で、5か年の目標や施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめた、第1期（2015年度から2019年度まで）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）を策定した。

玉村町においても、平成27年12月「玉村町人口ビジョン」及び「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4つの基本目標を掲げ地方創生の取組を進めてきた。

第2期の策定にあたり、国・県の人口ビジョン及び総合戦略では、ともに現行の枠組みを維持しながら必要に応じた施策の拡充を図っていることから、玉村町においても、第1期総合戦略の枠組みを継承しつつ、その進捗状況や上位計画である第5次玉村町総合計画を勘案し、新たな課題や社会情勢の変化に的確に対応できるよう施策の内容などを見直し、切れ目のないよう策定を行う。

### (2) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的

玉村町は、周辺都市のベッドタウンとして人口を増やして発展してきたが、最近は人口減少が始まっている。現状のまま推移すると、人口減少や少子高齢化が急速に進行し、まちが衰退していく可能性がある。「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、こうした事態に陥ることがないように、「第1期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的を継承し、引き続き人口減少への対策とまちの発展に向けた道筋を示すことを目的としている。

### (3) 国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた基本目標

「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、引き続き下記の4つの政策分野について、基本目標を設定した。また、国が第2期における新たな視点として示した次の項目についても、施策として取り入れられる部分を検討しつつ取り組んでいく。

#### 【4つの政策分野】

政策分野1：「地方における安定した雇用を創出する」

政策分野2：「地方への新しい人の流れをつくる」

政策分野3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

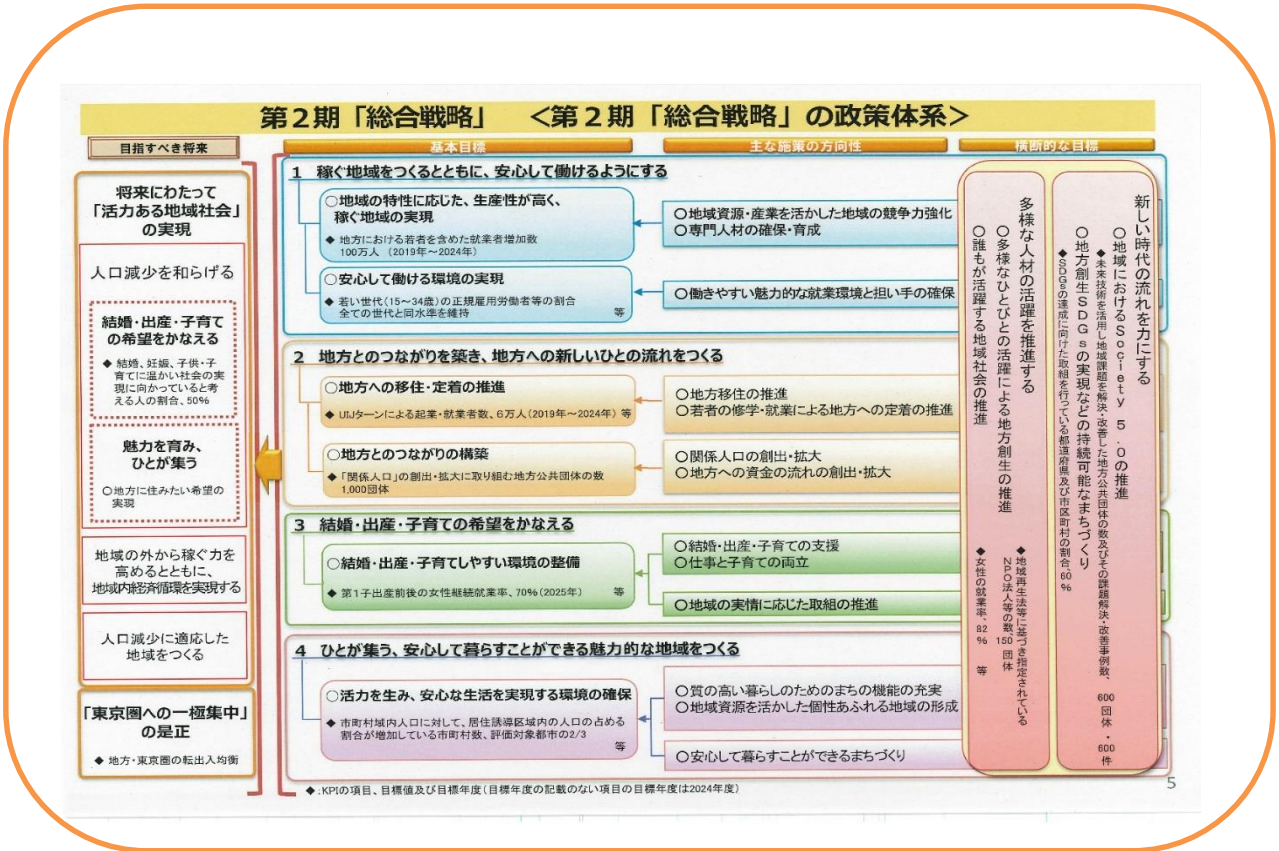
政策分野4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」



## 第2期における新たな視点

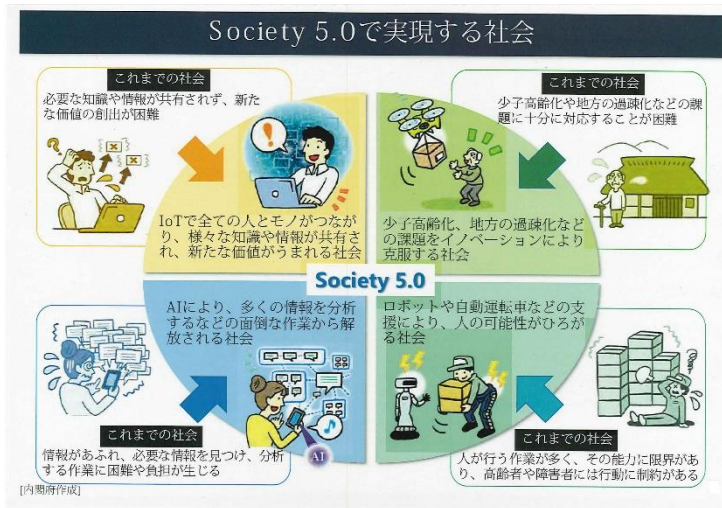
- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
  - ・将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
  - ・企業や個人による地方への寄附・投資等による地方への資金の流れの強化
- (2) 新しい時代の流れを力にする
  - ・Society5.0（※1）の実現に向けた技術の活用
  - ・SDGs（※2）を原動力とした地方創生
- (3) 人材を育て生かす
  - ・地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- (4) 民間と協働する
  - ・地方公共団体に加え、NPO等の地域づくりを担う組織や企業と連携
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
  - ・女性、高齢者、障がい者、外国人等誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- (6) 地域経営の視点で取り組む
  - ・地域の経済社会構造全体を俯瞰<sup>ふかん</sup>してマネジメント

### 政策の基本目標及び政策体系（出典：第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）



## ※1 : Society 5.0 とは

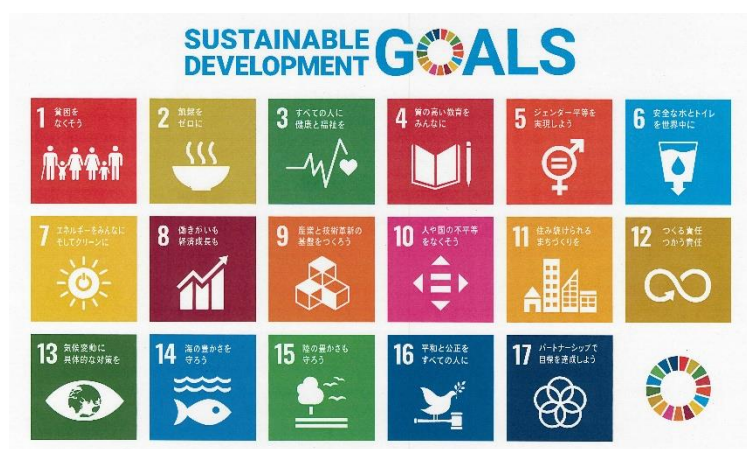
Society 5.0 で実現する社会は、I o T (Internet of Things) で全ての人とモノがネットワークによりつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、さまざまな課題や困難を克服する。また、人工知能 (A I) により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服される。



【出典】内閣府ホームページ

## ※2 : SDGs エス・ディー・ジーズとは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



【出典】国連広報センター作成

#### (4)「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間

国の総合戦略を踏まえ、令和2年度から令和6年度までの5年間とした。



## 2. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針及び施策体系

### (1) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針

#### 1) 高崎玉村スマートIC及び東毛広域幹線道路を活用したまちづくり

2014年2月に高崎玉村スマートICが共用開始となり、さらに、2016年には玉村町を東西に横断する東毛広域幹線道路が高崎駅東口から館林ICまでの間で全線4車線化となった。これらの道路整備により、広域的な交通利便性が向上するとともに、玉村町から高崎駅東口へのアクセス時間が大幅に短縮され、玉村町の交通網の良さを生かし、産業集積を促して雇用機会の創出を図るとともに、関係人口を増やし地域経済の活性化につなげるまちづくりを行う。

#### 2) 3市に囲まれた地域特性を生かしたまちづくり

玉村町は、高崎市、前橋市、伊勢崎市といった群馬県の主要3市に囲まれ、3市の通勤・通学圏となっている。こうした立地特性を生かし、3市の産業集積や都市機能を活用したまちづくりを行う。3市と玉村町を連絡する公共交通の充実により、通勤・通学の利便性を高め、ベッドタウン化により人口減少や少子高齢化に歯止めをかけていく。

#### 3) 道の駅玉村宿を生かすまちづくり

2015年5月に道の駅玉村宿がオープンし、町内の農産物の販売拠点や来訪者の立寄拠点となることが期待されている。玉村宿が集客性の高い交流拠点となり、町内の農業者や商業者の雇用を支える施設となるよう、物販機能、飲食機能、情報発信機能などを高めていくことが求められている。2020年4月には大型コンベンションセンター「Gメッセ群馬」が誕生することから、全国からの来場者を誘客するためにも、魅力ある商品・メニュー開発などを進め、玉村宿を生かすまちづくりを行う。

#### 4) 民間と連携したまちづくり

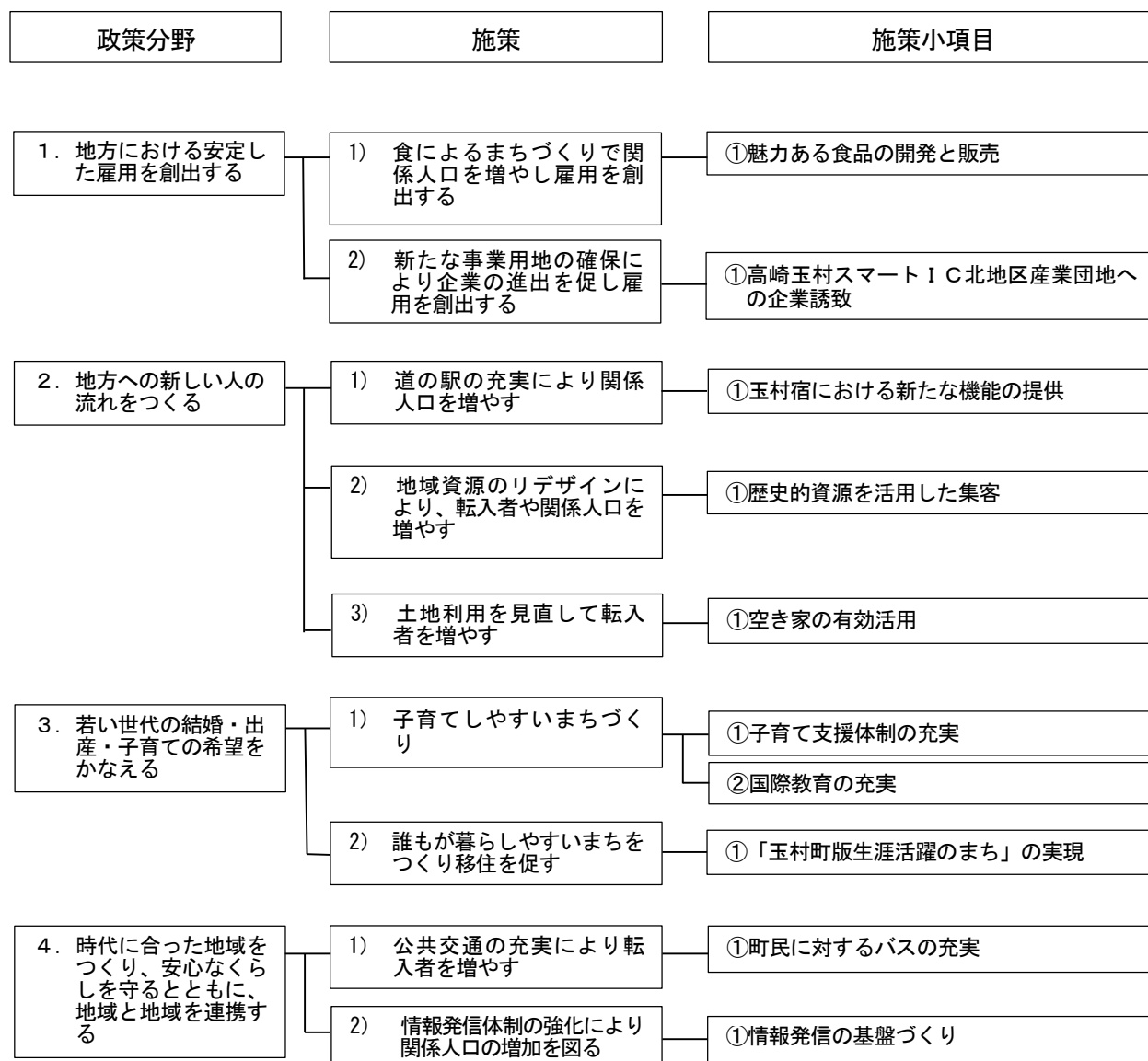
玉村町には、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、群馬県立女子大学、群馬フェリーチェ学園など、全国的にも個性が光る民間事業者等が立地している。こうした民間事業者と連携して、新たな商品やサービスを開発して、地域の経済循環を回していくまちづくりや、国際教育の充実を図る。さらに、地域特性に応じて土地利用の制約を見直すことで、幅広い民間事業者が進出しやすい環境を整える。民間事業者の進出を促すことで、雇用機会の創出、子育てをはじめとする様々な領域のサービスを充実させていく。民間の力を積極的に活用することで、転入者の増加につなげていく。

#### 5) リデザインを重視したまちづくり

玉村町には、日光例幣使道の宿場町として発展した歴史文化的資源が残されている。また、玉村町は小麦の生産地、食肉の流通拠点といった特徴や、麦秋の田んぼや水辺をはじめとする絵になる風景を備えている。こうした地域資源を、現在の新しい消費者ニーズに合せた施設・商品・サービスなどに活用していく「リデザイン」を重視したまちづくりを行う。地域資源の優位性を見直し、関係者が連携して付加価値を高めることで、関係人口の増加や町内事業者の販売増進などにつなげていく。

## (2) 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策体系

玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系は下記のとおりである。



### 3. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と施策

#### (1) 政策分野：地方における安定した雇用を創出する

##### 【1】基本目標

###### 【基本目標】

町内には群馬県食肉卸売市場があり、上州牛や上州豚を国内外に提供するとともに、職業能力開発校である全国食肉学校では、全国、世界各国からの学生が集まっている。玉村町の農業は、稲作が中心ながら小麦や種類豊富な野菜を生産していることが特徴である。こうした「食」に関する地域資源を活用して魅力あるメニューや商品開発を行い、「食」によって関係人口を増やし、町内の飲食業、食品製造業の雇用創出を実現する。

また、玉村町は高崎市、前橋市、伊勢崎市など県内主要都市に囲まれている。さらに、高崎玉村スマートICがあり、関越自動車道や北関東自動車道へのアクセス性にも優れている。こうした特長を生かして企業の進出を促し、雇用創出を実現する。

##### 【2】施策

###### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・ 町内の従業者数（経済センサス活動調査）	14,660人（H28）	14,800人（R6）

###### 1) 食によるまちづくりで関係人口を増やし雇用を創出する

上州牛、豚、玉村町産小麦、種類豊富な野菜など玉村町の「食」の地域資源を活用して、魅力ある食品を開発する。開発した商品やメニューは、道の駅玉村宿や町内の飲食店で提供し、「食」のまちとして玉村町を売り出す。さらに町内の飲食機能の充実、企業や団体と連携した「食」のまちづくりを進めて来訪者を増やし、農業、飲食業、食品製造業など売上高増加と雇用の創出を目指す。



###### ① 魅力ある食品の開発と販売（経済産業課・企画課）

###### 【施策内容】

道の駅玉村宿、高崎健康福祉大学、群馬県立女子大学、商工会、JA佐波伊勢崎、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、食品メーカーなどと連携して、玉村町の「食」の地域資源を活用して魅力ある商品やメニューを開発し販売することで、町内の雇用創出につなげていく。なお、商品やメニューの開発までのプロセスも様々な形で情報発信し、交流人口や関係人口の増加にもつなげていく。

また、玉村町産「麦」の活用に向けて、毎年5～6月に見られる町の風景「麦秋」「BAKUSYU」をPRするとともに、環境に優しい「麦ストロー」の普及を促し、玉村町産「麦」の魅力を発信し、来訪者の増加にもつなげていく。

**【主要事業】**

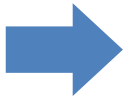
- ・玉村町の「食」の地域資源を活用して魅力ある商品やメニューを開発し販売
- ・「麦秋」を「BAKUSYU」としてPRする
- ・「麦ストロー」の普及を促進

**【推進体制】**

玉村町、道の駅玉村宿、高崎健康福祉大学、群馬県立女子大学、商工会、JA佐波伊勢崎、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、食品メーカー、食の探検隊などと連携して、玉村町の「食」の地域資源を活用して魅力ある商品やメニューを開発し販売。

**2) 新たな事業用地の確保により企業の進出を促し雇用を創出する**

玉村町は高崎玉村スマートIC、東毛広域幹線道路を抱え、高速道路の交通利便性に優れている。町内の市街化調整区域の一部を市街化区域に編入し、新たな事業用地を確保する。交通利便性の良さを生かして、製造業や物流業などの企業を誘致し、町の財政基盤の安定化と雇用の創出を目指す。なお、雇用の創出に当たっては、そこで働く従業員や家族が住む場所の確保や子育て・教育の充実などの生活支援も含めた対策が必要なため、町全体で支援を行う。

**① 高崎玉村スマートIC北地区産業団地への企業誘致（都市建設課）****【施策内容】**

人口減少に対する歯止めと地域経済の活性化に向けて、長期的な視点に立ち、土地利用の見直しを行う。高崎玉村スマートIC北地区を工業専用地域として市街化区域に編入し、産業系の事業用地を確保する。整備にあたっては、道の駅玉村宿と隣接するため、誘致する企業や道の駅来場者がスムーズに利用できる形態を目指す。

**【主要事業】**

- ・群馬県の都市計画定期見直し手続き
- ・産業団地造成事業
- ・企業に対する誘致活動

**【推進体制】**

群馬県と協力して推進する。

**【3】重要業績評価指標（KPI）****1) 「食によるまちづくりで交流人口を増やし雇用を創出する」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 魅力ある食品の開発と販売</b>		
・道の駅玉村宿の年間売上高	400,000 千円（R1）	410,000 千円（R6）

## 2) 「新たな事業用地の確保により企業の進出を促し雇用を創出する」

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (年度)
① 高崎玉村スマート I C 北地区産業団地への企業誘致		
・ 産業団地造成事業	－ (R1)	実施 (R6)





## (2) 政策分野：地方への新しい人の流れをつくる

### 【1】基本目標

#### 【基本目標】

2015年5月にオープンした道の駅玉村宿の集客力を高め、町内の自然や歴史文化などの地域資源を活用して魅力あるまちづくりを進めるとともに、安全安心なまちづくりを継続することで関係人口を増やし、地域経済の活性化を実現する。

また、玉村町は高崎市、前橋市、伊勢崎市など県内主要都市に囲まれ、雇用機会に恵まれており、これまで周辺都市のベッドタウンとして人口を増やしてきた。土地利用の見直し（宅地の供給）、空き家の活用、地域資源のリデザインなどを通じて、さらに住みやすいまちにして転入者の増加を実現する。

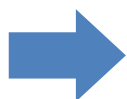
#### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・ 年間日帰り客数（群馬県観光客数・消費額調査）	834,500人(H29)	900,000人(R6)
・ 年間転入者数（群馬県移動人口調査）	1,619人(H30)	1,700人(R6)

### 【2】施策

#### 1) 道の駅の充実により関係人口を増やす

食や風景などで玉村宿の魅力を高めるとともに、道の駅に新たな機能を加えて、人が集まる仕組みをつくり、県内はもとより東京圏からの来訪者の増加を目指す。玉村宿がまちの玄関口となるよう拠点性を高める。



#### ① 玉村宿における新たな機能の提供（経済産業課・都市建設課・企画課）

##### 【施策内容】

玉村町の優れた交通条件を生かし、観光客やGメッセ群馬への来場者に道の駅玉村宿への立寄りを促す。群馬県立女子大学や高崎健康福祉大学、各種企業とも連携し、道の駅玉村宿ならではの商品やメニューを増やす。更に道の駅相互による地元名産品販売を取り扱うことにより、魅力ある商品のラインアップを図る。また、道の駅玉村宿周辺に観光農園等の誘致を視野に検討を進めるとともに、駐車場の確保を図り継続的な立寄客の増加を目指す。

##### 【主要事業】

- ・ 道の駅玉村宿ならではの商品やメニューの開発
- ・ 観光バスの立ち寄り化
- ・ 道の駅同士の相互連携
- ・ 周辺施設整備等による相乗効果

**【推進体制】**

群馬県立女子大学や高崎健康福祉大学等と連携し商品やメニューを開発。観光バスの誘致及び道の駅同士の相互連携による商品の充実化。開発業者や農業者との協力による周辺施設の整備を図る。

**2) 地域資源のリデザインにより、転入者や関係人口を増やす**

自然環境、風景、歴史文化、農作物、特産品、企業、人材などに関する地域資源を再評価し、玉村町のイメージアップと集客力を向上させる。さらに、さまざまな地域資源を組み合わせストーリー性を持たせるなど、新たな価値を創出することで魅力を持たせ、関係人口や交流人口の増加を図る。

**① 歴史的資源を活用した集客（生涯学習課・企画課）****【施策内容】**

玉村町は日光例幣使道の宿場町として栄えた歴史があり、町内には歴史的建造物が散在している。歴史的建造物をカフェやショップなどに改修して再利用を促すとともに、歴史的建造物や街道を散策する回遊コースの整備やボランティアガイドの育成を図り、観光客の受入れ体制を整える。歴史的資源を活用したまちづくりを進めることで、観光客を増やす。

**【主要事業】**

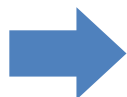
- ・ボランティアガイドの活動機会の提供
- ・歴史的建造物の再生と活用
- ・歴史的建造物や街道を巡る散策コースの整備
- ・日光例幣使道や歴史的建造物など歴史の香りを生かしたまちづくり

**【推進体制】**

玉村町が中心となり、蔵や古民家の改修に対する支援を充実させる。さらに、商工会と連携し、歴史的建造物を活用したカフェやショップの開業に対して、経営上のアドバイスを行う。

**3) 土地利用を見直して転入者を増やす**

新たな住宅用地を確保するため、玉村町空家除去補助事業の推進、空き家となっている土地の利活用や空き家の有効活用などを進め、転入者の増加を目指す。

**① 空き家の有効活用（都市建設課）****【施策内容】**

老朽化の激しい空き家については、玉村町空家除却補助事業補助金の交付により、空き家を解体し新たな住宅用地を確保する。

また、比較的、状態の良好な空き家については、玉村町空き家バンクに登録を促し、空き家の有効活用を図る。

**【主要事業】**

- ・玉村町空家除却補助事業
- ・空き家バンクの活用

**【推進体制】**

玉村町が主体となり、空き家となっている家屋や土地の有効活用を促進する。

**【3】重要業績評価指標（KPI）****1) 「道の駅の充実により関係人口を増やす」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 玉村宿における新たな機能の提供</b>		
・道の駅玉村宿への来場者数	520,000人（R1）	550,000人（R6）

**2) 「地域資源のリデザインにより、転入者や交流人口を増やす」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 歴史的資源を活用した集客</b>		
・歴史的建造物再生件数	0件（R1）	1件（R6）

**3) 「土地利用を見直して転入者を増やす」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 空き家の有効活用</b>		
・玉村町空家除却補助事業補助金利用件数	4件（R1）	30件（R6）



### (3) 政策分野：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【1】基本目標

##### 【基本目標】

玉村町は、放課後児童クラブをはじめ子育て支援体制が充実している町である。さらに、玉村町は国際教育特区に指定されるとともに、群馬県立女子大学の外国語教育研究所が県民英会話サロン「グローバルカフェ」を開催し、英語教育に力を入れている。こうした子育てしやすい環境をさらに充実させることで、子育てと仕事が両立できる環境を整備し、子育て世帯の転入増加を図ることで、年少人口の減少を緩やかにする。

また、平成 29 年度に策定した玉村町版生涯活躍のまち事業計画の実現に向け、玉村町の暮らしやすさに磨きをかけて、ファミリー層からシニア層までが移住したくなる「生涯活躍のまち」を実現する。

更に、近年、外国人労働者の増加に伴い外国人の子どもが増加している。外国人にとっても安心して子育てができる、住みやすい共生のまちの実現を目指す。

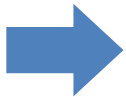
##### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・年少人口（群馬県年齢別人口統計調査）	4,250 人（H30）	4,200 人（R6）

#### 【2】施策

##### 1) 子育てしやすいまちづくり

子育ての支援体制や児童に対する英語教育などをさらに充実させるとともに、子育てと仕事が両立できる環境を整え、「子育てしやすい国際教育の玉村町」を確立して、転入者の増加を図る。また外国人にとっても安心して子育てができる、住みやすい共生のまちの実現を目指す。



##### ① 子育て支援体制の充実（子ども育成課・学校教育課・健康福祉課）

###### 【施策内容】

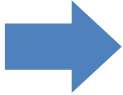
玉村町では放課後児童クラブや給食などが充実しており、子育てしやすいまちである。こうした実態を継続してPRするとともに、外国人にとっても安心して子育てができる環境を実現する。外国人児童生徒に対する日本語指導を強化する。

###### 【主要事業】

- ・子育てしやすいまちの実態のPR
- ・外国人児童生徒に対する日本語指導の強化

###### 【推進体制】

玉村町が中心となり、保育の充実などの子育て支援体制の更なる整備。また、小中学校における日本語指導体制を整える。



## ② 国際教育の充実（学校教育課・生涯学習課・子ども育成課・企画課）

### 【施策内容】

群馬県立女子大学や群馬フェリーチェ学園、学校に配置されているALT（外国語指導助手）などと連携し、英語学習やグローバル人材の教育を受けやすい玉村町をPRすることで、ファミリー層の転入促進につなげる。

### 【主要事業】

- ・群馬県立女子大学や群馬フェリーチェ学園、ALTなどと連携した外国語教育の提供

### 【推進体制】

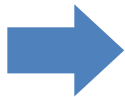
玉村町、群馬県立女子大学、群馬フェリーチェ学園、ALTなどと連携し、英語学習等の提供に取り組む。

## 2) 誰もが暮らしやすいまちをつくり移住を促す

今後の高齢者人口の増加を見据え、町内外の高齢者が安心して暮らせるまちづくりとして、平成29年度に「生涯活躍のまち事業計画」を策定し施策の実現に向け、以下を基本コンセプトとして実施に向け推進する。

1. 町全域、全世代を対象とした「生涯活躍のまち」の実現を目指す。
2. ふれあいの居場所を核とした、多世代が共生するまちを目指す。
3. 大学と連携・協働するまちを目指す。
4. 子どもから高齢者、すべての人が自分らしく生きがいを持ち、健康で住み続けられるまちを目指す。

とともに、外国人にとっても住みやすい共生のまちを目指すため、地域資源を生かした国際交流を推進する。



## ①「玉村町版生涯活躍のまち」の実現（経済産業課・都市建設課・健康福祉課・子ども育成課・学校教育課・生涯学習課・企画課）

### 【施策内容】

玉村町の「生涯活躍のまち」は、今後の高齢者人口の増加を見据え、町内外の高齢者が安心して暮らせるまちづくりとして捉えている。子育てのしやすさ、周辺地域への企業の進出、大学の集積などの地域特性を生かし、若者やファミリー層の転入を促し多世代が共生する「生涯活躍のまち」の実現を図る。また、地域資源を生かした国際交流を推進し共生社会の実現を目指す。

### 【主要事業】

- ・生涯活躍のまちの事業計画に定めた事業（37事業）
- ・国際交流の充実

**【推進体制】**

玉村町、大学、高校、企業、医療機関、NPO 法人、国際交流協会、住民活動団体等が連携して推進する。

**【3】重要業績評価指標（KPI）****1) 「子育てしやすいまちづくり」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 子育て支援体制の充実</b>		
・日本語教室参加者数	31人（R1）	60人（R6）
<b>② 国際教育の充実</b>		
・英語教育講習会の年間延べ受講者数	11,000人（R1）	12,000人（R6）

**2) 「誰もが暮らしやすいまちをつくり移住を促す」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 「玉村町版生涯活躍のまち」の実現</b>		
・玉村町版の生涯活躍のまちの進捗率	30%（R1）	70%（R6）

※進捗率とは、全 37 事業の内、実施済みの事業の割合



**(4) 政策分野：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する**

**【1】基本目標**

**【基本目標】**

玉村町は、高崎市、前橋市、伊勢崎市に隣接しており、周辺都市へのアクセス性を向上させることで、通勤や通学がしやすいまちとしていく。玉村町の公共交通の中心はバスであり、周辺都市と連絡するバス、町内のバスを充実させることで、玉村町のベッドタウンとしての価値を高め、転出者の抑制と転入者の増加を実現する。さらに県が示している東毛広域幹線道路 BRT 構想では、道の駅玉村宿と文化センターが乗継結節点候補地とされていることから、運行が実現した際には、その支線となる路線バスや乗合タクシー等の2次交通を整備し、交通利便性の向上を図る。これらの交通網の良さを生かし、関係人口や交流人口を増やす。

また、町には柱となる観光資源はないものの、魅力的な資源は数多く存在しているため、それらの素材を地域の商品として活用し、情報発信やシティーセールスを一元的にかつ効果的に行うための方法を検討する。あわせて全国から寄附を受けられるふるさと納税制度を利用し、ふるさと納税ポータルサイト等を活用して、町の魅力ある商品(返礼品)の情報発信を強化する。

**【基本目標に対する数値目標】**

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・年間社会増減数（群馬県移動人口調査）	▼96人（H30）	0人（R6）

**【2】施策**

**1) 公共交通の充実により転入者を増やす**

高崎市、前橋市、伊勢崎市に向けた通勤通学バスを充実させて、公共交通を利用する通勤客、通学客などの利便性を高め、転入者の増加を目指す。



**① 町民に対するバスの充実（環境安全課）**

**【施策内容】**

高崎駅・伊勢崎駅に向けては群馬中央バスが、前橋駅・新町駅に向けては永井バスが運行している。これらの運行本数を増やし、更に相互に乗継しやすくなるよう、運行会社や周辺自治体へ働きかける。

なお、国道 354 号線を通る東毛広域幹線道路 BRT 構想において、道の駅玉村宿と文化センター周辺の2箇所が乗継結節点候補地とされていることから、運行が実現した際には、玉村町から高崎、伊勢崎、太田などへの通勤・通学に利用できる“横軸”としての公共交通アクセス性が飛躍的に向上することになるため、県への働きかけを強化する。

**【主要事業】**

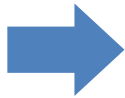
・文化センター周辺まちづくり事業における乗継結節点（交通ターミナル）を活用し、既存路線バスや乗合タクシー「たまりん」の再編を行う。

**【推進体制】**

地域公共交通会議や地域公共交通活性化再生法の法定協議会において協議を行い方針決定する。

**2) 情報発信体制の強化により関係人口の増加を図る**

町の魅力的な資源や素材を活用し、東京圏に情報発信し関係人口の増加を図る。あせてふるさと納税制度を活用した情報発信を強化する。また、2020年から商用サービスが開始される第5世代移動通信システム（5G）の活用に向け近隣市町村の動向に注視しつつ、実施可能性について検討する。

**① 情報発信の基盤づくり（企画課・経済産業課・生涯学習課）****【施策内容】**

（仮称）「魅力づくり推進検討委員会」を発足させ、町の魅力発信の方針を検討し、組織化を進め東京圏からの関係人口、交流人口の増加を図り、利益循環構造を生み出す。あわせて、道の駅玉村宿、文化センター、住民活動サポートセンター等に情報発信センター的な機能の設置に向けても検討する。なお、それらの情報を含め、町民にも分かりやすい方法で周知を行う。

**【主要事業】**

- ・（仮称）「魅力づくり推進検討委員会」発足
- ・現地視察ツアーなどの開催
- ・ふるさと納税事業

**【推進体制】**

玉村町、地域おこし協力隊、道の駅玉村宿、住民活動サポートセンター、ガイドたまむらの会、大学、高校、農業団体、商業団体等が連携し情報発信体制の強化を推進する。

**【3】重要業績評価指標（KPI）****1) 「公共交通の充実により転入者を増やす」**

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 町民に対するバスの充実</b>		
・周辺都市へのバスの運行便数	67便（R1）	80便（R6）

**2) 情報発信体制の強化により関係人口の増加を図る**



重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>① 情報発信の基盤づくり</b>		
・地域おこし協力隊員	1人（R1）	2人（R6）



## 4. 「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進と検証

### (1) 総合戦略の実現に向けた取り組み

総合戦略に示した施策や事業は、推進体制に示したように、農業団体、商工団体、金融機関、民間企業、住民活動団体、大学、高校、行政などの多様な主体による連携と協力により協働を進めていくことが重要であり、情報共有を進めるとともに、施策や事業を実行するための財源は、国の財政的支援制度を積極的に活用していく。

### (2) 計画的な推進と検証に向けたPDCAサイクルの導入

「まち・ひと・しごと創生法」の第8条では、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況に関して、客観的な指標を設定すべきとしている。玉村町の総合戦略では、基本目標に対しては数値目標を、施策に対しては重要業績評価指標と目標値を設定している。

基本的には令和6年度における目標値を設定しており、施策や事業の進捗状況を毎年確認するとともに、社会環境の変化などに応じて審議会を開催し、基本目標が実現できるよう施策や事業の内容を改善していく。PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（検証）、ACTION（改善）のPDCAサイクルを回し、総合戦略を実現していく。

